

大名行列 山車祭

刈谷の歴史に華を添え、時代を越えて蘇る。



平成30年
5月3日(木) 祝日

かつなりくんも
やってくる!

衣浦定住自立圏域イベント情報



知立まつり(木祭り)
【知立市】5月2日(水)・3日(木・祝)

東陽町アトラクション



- ◆PRINCESS SAMURAI of JAPAN あいち地区隊演奏 11:25~
- ◆山車・お囃子披露 11:45~
- ◆奴のねり 12:00~

万燈通りアトラクション



- ◆刈谷城盛上げ隊演奏 12:00~
- ◆PRINCESS SAMURAI of JAPAN あいち地区隊演奏 12:20~
- ◆奴のねり 13:20~
- ◆山車・お囃子披露 13:40~

- ※野点茶会(先着500名) 12:00~13:30
- 於大通り 奴のねり 14:05~
- 市原稲荷神社 奴のねり 15:05~
- 山車・お囃子披露 15:10~

雨天の場合翌日4日(金・祝)に順延
※順延時、アトラクション等は一部中止



未来クリエイター
愛知 AICHI 2018
Destination Campaign
想像を超える旅へ。

あなたの旅の西三河ナビゲーション
西三河の観光ポータルサイト、自由にルートを作成できる
ルート作成システム「Myナビ」がOPEN!
観光ポットやイベント情報だけでなく、宿泊予約など便利な機能満載!
西三河を周遊して楽しむためのコースや季節の特産品も充実しています!
西三河ナビの必須アイテム「西三河くるとナビ」を是非ご利用下さい。
※QRコードはスマートフォンでの登録が必要です。

<https://www.nishimikawanavi.jp/>

刈谷 大名行列・山車祭

現代に美しく鮮やかに蘇る

刈谷の歴史絵巻

刈谷の大名行列



刈谷の大名行列は、江戸時代中期ごろから始められたという歴史ある伝統行事です。
もとは司町にある市原稲荷神社の祭礼として行われたもので、十万石の格式をもつ秋田出来守(あきたできのかみ)という架空の殿様が神社の神輿を警護するといった形を表していました。
現在では、大名行列保存会により引き継がれ徳川家康の生母「於大の方」などの女性列が行列に華を添え、伝統の技「奴のねり」とともに市内中心部を練り歩き盛大に開催しています。

刈谷市指定無形民俗文化財

やっこ 奴のねり



刈谷の「奴のねり」は、大名行列の中で行われていたとされており、史料(刈谷町庄屋留帳)のうえでは、寛延元年(1748)に「大名ねり物」とあるのが初見で、弘化2年(1845)には「奴行列」とみられます。
刈谷の「奴のねり」は、所作と掛け声が江戸時代からそのまま受け継がれているとされており、全国的にも特徴があり、刈谷における伝統的文化財となっています。

刈谷市指定有形民俗文化財

さかな まち しん まち 肴町・新町の山車

刈谷市指定無形民俗文化財

市原稲荷神社祭礼の山車囃子



刈谷の山車は、華車、花車、祭礼車とも呼ばれ、市原稲荷神社の祭礼に使われたもので、大名行列の後ろに山車がつく形で参加していました。
市原稲荷神社の祭礼に参加した山車の起源については、本町が貞享4年(1687)に、中町が元禄14年(1701)に、肴町が宝永2年(1705)にはあったことが確認されています。
その後、寛政9年(1797)に新町、明治10年(1877)に正木新道、市原町が参加しており、最大で6台の山車が参加していました。
山車におけるからくり等の上演も古くから行われており、糸からくりは安政6年(1859)まで行われていました。
その後、戦争等の影響から昭和40年を最後に山車の参加は無くなりましたが、平成14年(2002)に約40年ぶりに修復された肴町の山車が大名行列に参加し、平成21年(2009)からは修復された新町の山車が祭りに参加しています。
市原稲荷神社祭礼の山車囃子(刈谷市指定無形民俗文化財)は、山車に付随する形で山車囃子が奏でられており、現在は、山車囃子を継承しようとする有志により継承されています。

